履修登録単位数の上限　登録できる単位数には上限があります。

年間履修登録単位数の上限	学部・学科 ＼ 年次	総合経営学部 経営学科	社会学部 社会学科	ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科	薬学部 薬学科
	1年次	前期 25 後期 25	48	48	57
	2年次	前期 25 後期 25	48	48	56
	3年次	前期 25 後期 25	48	48	60
	4年次	前期 25 後期 25	48	30	43
	5年次	―	―	―	35
	6年次	―	―	―	41

注：教職課程履修者が修得する、教職に関する科目の単位数については、この上限に含まれない。

卒業資格　必ずチェック！この単位数を修得しないと卒業できません。

⑴修業年限について

総合経営学部、社会学部、ソフトウェア情報学部では４年間（ただし、在学年数は８年まで延長できます）、薬学部では、６年間（ただし、在学年数12年まで延長できます）です。ただし、休学期間は在学の年数に算入されません。

⑵卒業に必要な単位数

①総合経営学部経営学科

卒業に必要な単位数は124単位以上で、その内訳は次の表の通りです。

履修分野		単位数
基礎スタンダード科目群		40 単位以上
専門科目群	専門必修科目	30 単位
	専門選択必修科目	12 単位
	専門選択科目	42 単位以上
合　計		124 単位以上修得すること

②社会学部社会学科

卒業に必要な単位数は 124単位以上で、その内訳は次の表の通りです。

履修分野		単位数
基礎スタンダード科目群		40 単位以上
専門科目群	学部共通必修科目	16 単位
	コース基幹科目	32 単位以上
	専門科目群の合計	84 単位以上
合　計		124 単位以上修得すること

③ソフトウェア情報学部

卒業に必要な単位数は 124単位以上で、その内訳は次の表の通りです。

履修分野		単位数
基礎スタンダード科目群		40 単位以上
専門科目群	専門必修科目	33 単位以上
	専門選択必修科目	4 単位以上
	専門選択科目	47 単位以上
合　計		124 単位以上修得すること

④薬学部

卒業に必要な単位数は 232 単位以上で、その内訳は次の表の通りです。

履修分野	単位数
基礎スタンダード科目群	30 単位以上
専門必修科目	202 単位以上
合　計	232 単位以上修得すること

進級と卒業について

進級・卒業に関する各学部判断基準

※詳細は各学部のオリエンテーションで説明します。

総合経営学部

総合経営学部では3年次に次のような4年次専門演習（必修）履修登録基準を設けています。

その目的は、①基礎的科目を履修しないで高学年に進級することにより、高学年配当科目の理解が不十分になることの防止、②高学年まで多くの未修得単位を残すことにより卒業が困難になることの防止です。

【4年次専門演習履修登録基準】

4年次専門演習を履修登録するためには次の1）及び2）の基準を満たさなければならない。

1）教職科目、取得単位数の合計が3年次終了時に60単位以上であること。

2）外国語の取得単位数の合計が3年次終了時に8単位以上であること。

社会学部

●第2学年を終了した時点で次のいずれかに該当する者は、進級を停止し原級に留め置く。

①取得した卒業単位が60単位に満たない者

②学期GPA値が1.0未満である期が、3期以上連続している者

●原級留置された学生のうち、次のいずれかに該当する者は、教授会の審議を経て仮進級を認める。仮進級は3年次配属となるが、一部の科目を除き、3年次配当科目の履修を認めない。

①取得した卒業単位が55～59単位である者

②取得した卒業単位は60単位以上だが、学期GPA値が1.0未満である期が3期以上連続している者

③障害等により学習上特別な配慮が必要であると申し出があった者

●次のいずれかに該当する者は、教授会および教務委員会の教務指導下に置かれる。対象学生の保護者には、事情と内容を説明した警告状を送付する。

①卒業単位の取得が、第1学期終了時で15単位、第2学期終了時で30単位、第3学期終了時で45単位、第5学期終了時で75単位、第6学期終了時で90単位に満たない者

②直前の学期のGPA値が1.0未満である者

ソフトウェア情報学部

ソフトウェア情報学部では以下のように科目履修上の留意点（卒業・進級要件）を設けています。

【卒業・進級要件】

2→3年生進級要件：次の(1)から(3)のすべてをクリアする

(1)「プログラミング演習Ⅰ・Ⅱ」「プログラミングワークショップⅠ・Ⅱ」の単位をすべて修得していること

(2) 1年生向けに開講されている、「基礎スタンダード科目群必修科目」および「専門科目群必修科目」の単位をすべて修得していること

(3) 2年次の終わりまでに総計60単位以上を修得していること

3→4年生進級要件：次の(1)から(3)のすべてをクリアする

(1) 1・2年生向けに開講されている、「基礎スタンダード科目群必修科目」および「専門科目群必修科目」の単位をすべて修得していること
(2) 「開発ワークショップ」、「創作ゼミナール」の単位を修得していること
(3) 3年次の終わりまでに総計100単位以上を修得していること

卒業要件：次の(1)から(3)のすべてをクリアする
(1) すべての必修科目の単位を修得していること
(2) 選択必修科目のうちの指示された科目の単位を修得していること
(3) 「基礎スタンダード科目群」から40単位以上、「専門科目群」から84単位以上修得していること

薬学部

薬学部では以下の進級規程を設けています。

【青森大学薬学部進級規程】

第１条 この規程は、青森大学薬学部における、進級に関する必要な事項を定める。

第２条 １年間に修得した単位数について、年次ごとの進級に関する基準を以下の様に定め、基準を満たした場合、進級することができる。基準を満たさない場合、留年とする。

(1) １年次から２年次
１年次必修の専門科目中、未修得単位数の合計が10未満であること。なお、この段階では、青森大学基礎スタンダード科目群における未修得単位数を基準の対象としない。

(2) ２年次から３年次
２年次までの全ての必修科目中、未修得単位数の合計が10未満であること。

(3) ３年次から４年次
1　２年次までの必修科目の単位を全て修得していること。
2　３年次の全ての必修科目中、未修得単位数の合計が10未満であること。

(4) ４年次から５年次
1　３年次までの全ての必修科目の単位を全て修得していること。
2　４年次の全ての必修科目中、未修得単位数の合計が5未満であること。
3　「薬学特論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の単位を修得していること。

(5) ５年次から６年次
５年次までの全ての必修科目の単位を修得していること。

(6) 卒業の認定
卒業の認定を受けるためには、青森大学学則第11条に定められた卒業要件を満たす単位を修得しなければならない。

第３条 学期GPA値が1.0未満である期が、進級・卒業判定時からさかのぼって3期連続している場合、進級または卒業を認めない。

付則

1　必修の実習、「実務実習事前学習」、「病院実習」、「薬局実習」の単位が未修得の場合、それ以外の科目の未修得単位総数が基準を満たしていても、次年次への進級を認めない。ただし、これら実習科目の単位未修得が、病気またはやむを得ない理由によると認められる場合には、教授会の議を経て「仮進級」させることがある。その場合には、追実習などにより、短期間に単位を修得できることを前提とする。

2　薬学共用試験に合格できなかった場合には４年次とする。

3　次年次への進級が認められなかった者（留年生）には、希望により次年次に開講する科目の先行履修を認めることもある。ただし、未修得科目および先行履修科目の単位の合計は、20を上限とする。

4　履修科目数が当該学期の必修科目数の半分未満である場合は第3条の規定を適用しない。進級卒業判定年度以前の前期GPA値が1.0未満である場合は、その学期科目でGPA値を再計算して評価する場合がある。また、先行履修科目は学期GPA値に含めない。

5　この規程は、平成31年4月1日から施行し、平成31年4月1日以降に青森大学薬学部に入学する者に適用する。

進級・卒業に関する全学部共通規則

各学部が設定している上記の規程・留意点に加えて、全学部共通のルールとして、下記の規則を定めています。

学期GPA値が1.0未満である期が、進級･卒業判定時からさかのぼって3期以上連続している場合、進級又は卒業を認めない。

（参考）この規則は全学部共通の最低ルールであり、各学部が設定した規則に加えるものである。

例＞2020年度前期－2020年度後期－2021年度前期－2021年度後期
（GPA値2.0）　－（GPA値0.9）　－（GPA値0.95）－（GPA値0.85）

・学期GPA値が2期連続1.0未満の時点で厳重注意。
・学期GPA値が3期連続1.0未満で進級または卒業を認めない。
・2021年度後期の学期GPA値が1.0を超えた場合は、この規則に関してはクリアされ、各学部で設定している進級規程により判断される。

成績評価とGPA(Grade Point Average)について

1. 成績評価について

(1)履修した科目の評価は、担当教員による評点（100～0点）によって行われます。また評点に対応して評語と合否の判定が確定します。（表1）
(2)学生と保護者に配布される成績表には評語のみが表記されます。

表1. 評点、評語、判定、グレードポイント

評　点	評語	判定	グレードポイント
100 ～ 90 点	S	合格	4
89 ～ 80 点	A		3
79 ～ 70 点	B		2
69 ～ 60 点	C		1
59 ～ 0 点	D	不合格	0
評価不能	N		

2. GPA(Grade Point Average)について

(1)GPAは履修した科目の評価に対応したグレードポイント（表1）を単位数で平均化したものです。高評価の科目が多ければGPAは上がり、低評価の科目や不合格の科目が多いと下がります。合格か不合格かで決まる単位数を「量的な」評価とすれば、GPAは成績の内容を問う「質的な」評価基準となります。
(2)GPAは4年間（薬学部は6年間）を通じての評価となります。一度下がると回復が困難ですので常に高い値を維持するように心がけてください。

（参考） GPAの計算方法

科目名	単位数（a）	評点	評語	GP（b）	a × b
○○学概論	2	95	S	4	8
○○学要説	2	85	A	3	6
□□学演習Ⅰ	1	55	D	0	0
□□学演習Ⅱ	1	70	B	2	2
△△基礎実験	2	90	S	4	8
計	8				24
GPA=(履修登録科目の単位数×科目のGP)÷(科目単位数の合計)					3.00

GP … グレードポイント（表１参照）
注１）不合格の科目も含め、履修したすべての科目から計算されます。
注２）教職に関する科目など卒業単位に含まれない資格関連科目や、編入学生の認定科目はGPAの計算に含まれません。